～誰もが自分らしく生活できる地域社会をめざして～

社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団

事業団だより

なないろ

第９号
平成３１年２月

表紙「かめっこくらぶ」

施設紹介 ぐっじょぶ矢畑・・・P2 ～ 3
活動紹介ほか ・・・P4
リレートーク ・・・P5
ニュース＆トピックスほか ・・・P6

「ゆっくり、かめのようにのんびり過ごせる場所になってほしい」という思いで「かめっこくらぶ」が開所して、はや１１年が経過しました。

放課後の短い時間ですが、お子さん一人ひとりの良いところを見つけ、自分に自信を持ってもらえるよう、自分を好きになってもらえるように、また、「かめっこくらぶ楽しかった！また行きたいな！」と感じてもらえるような雰囲気づくりを心掛けています。

お子さんの無限の可能性を信じ、これから生きていく力を少しでも蓄えられるように、「あせらず・あわてず・あきらめず」お子さんの心と身体が成長する大事な時期を共に過ごしていきたいと思います。

かめっこくらぶ
（日中一時支援）
施設長　棚橋利恵

ぐっじょぶ矢畑

ぐっじょぶ矢畑について

４月で開設３年目を迎える、鶴嶺通りで運営している就労継続支援Ｂ型の事業所です。

Ｂ型の事業所の中でも生活介護に近い事業所をコンセプトに運営しています。

それぞれの個性にあわせて、作業が難しい方も自分のペースで作業ができるよう取り組んでいます。

作業内容について

メインの作業は子ども向け雑誌の付録の封入作業を行っています。

段ボールの仕切りの組み立ても多くいただいており、この二つの作業が主な仕事です。

その他、バックアップ施設のふれあい活動ホーム赤羽根から多様な作業を提供してもらっています。

施設長より

ぐっじょぶ矢畑では、利用者の皆様の状況に応じた作業種、作業量、作業工程を提供しています。

また、特に休憩時間は設定していません。作業中にお茶を飲んだりトイレに行ったり休憩するのも自由です。

ストレスのない範囲で作業に取り組み、働くことの楽しさや製品を完成させる達成感を感じていただき、ハッピーな１日を過ごしていただければと思っています。

ぐっじょぶ矢畑の活動風景

付録詰めの作業は多いときは２万冊分以上の仕事をいただきます。
付録の中身が多いときは作業室が付録でいっぱいになります。
段ボール等の作業では、型同士を組み合わせる組み仕切りという作業と、同じ型の物を企業からの指定の量ずつ箱詰めする仕切り版セットという作業が主な作業です。
お昼は、業者さんにお弁当を届けてもらいます。お味噌汁と一緒にモリモリ食べたら、ゆったりと休憩してリフレッシュ。
お昼寝、ゲーム、テレビ鑑賞等、思い思いに過ごしています。

行事も行っています♪

秋には芋掘りを行っています。今年は第２あかしあと一緒に草むしりなどの畑の手入れも行いました。
大きな芋が取れると皆さん大喜びです。

☆ぐっじょぶ矢畑へのアクセス☆

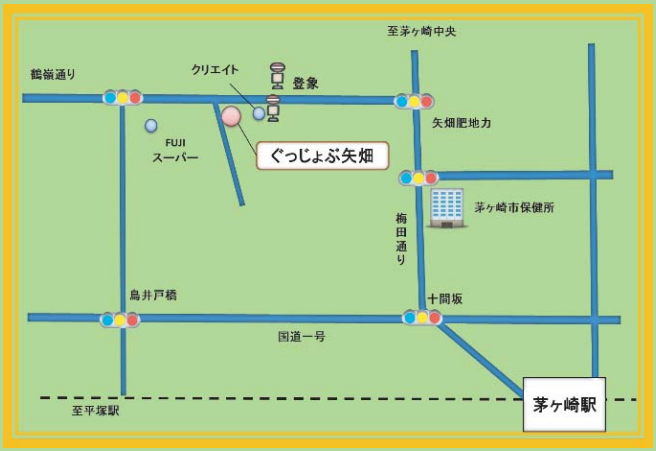
（ ＪＲ茅ヶ崎駅からバスで約１０分 ）

ＪＲ茅ヶ崎駅北口から神奈中バス５番乗り場より寒川駅南口行き又は小谷行に乗車、登象バス停で下車。
進行方向に向かい徒歩１分。

☆問い合わせ先☆

電話番号：0467-83-9300

受付時間：平日８：30～17：15



利用希望・体験希望等気になることがあればお気軽にお問い合わせください！

つつじ学園
（児童発達支援センター・児童発達支援）
活動風景

「つつじ学園祭」

１１月１７日（土）、からっと晴れた秋空の下、つつじ学園祭が行われました。やきそばやポテトフライ、ヨーヨー釣りにゲームなど、たくさんの屋台が立ち並び、楽しい音楽が流れる雰囲気に、子どもたちの目がキラキラ輝いていました。地域の方や卒園児さんたち、たくさんの方々に足を運んでいただき、楽しいひと時をすごしました。

メインゲストは茅ケ崎高校のチアリーディング部の皆さん。迫力満点の演技に子どもも大人もくぎ付け！演技終了後にチアリーディング体験をさせていただき、ポンポンを持ったり、空高くリフトしてもらう子どもたち。キャー、高い～！と、初めての体験にドキドキしながらも、楽しそうな声が園庭に響きました。

ふれあい活動ホームあかしあ（生活介護）
活動風景

「初詣」

１月４日（金）の午後、あかしあのみなさんで毎年恒例の熊野神社へ歩いて初詣に行きました。気温は低いものの天気に恵まれ、ゆっくり歩いて片道１５～２０分。昨年よりも多くの人で賑わうなか、鳥居をくぐり、お参りをしてきました。

おみくじを引いたり、お守りを買ったり、みなさん嬉しそうに過ごしていました。今年もあかしあにとって良い一年になるよう願いを込めて、一人ひとり力一杯鐘を鳴らして帰ってきました。

Pick Up!　つつじ学園　言語聴覚指導（ST）

つつじ学園では日々の療育のほか、専門職員の指導があります。第３回目の専門指導紹介は、小児の言語聴覚指導法について２名の言語聴覚士、佐々木先生、梅澤先生へインタビューをしました。

Q. ST（言語聴覚士）とはどのような指導ですか？

ことばを話すには、ことばを理解する力、人に伝えようという気持ち、コミュニケーション力が大切です。さらにことばを話すときには、ことばを記憶して同じ音を作り出さなければなりません。また、相手にわかるようにことばを並べる必要があります。

ＳＴでは、関わりを通してお子さんの持てる力を伸ばすようお手伝いをします。コミュニケーションの力は生活や遊びの中で、人とやりとりすることによって成長するからです。また、保護者に参観して頂いた後の話し合いの時間を大切にしています。ご家庭での楽しい関わりが多くなることを、目指しているからです。

集団の中での様子を見せていただいて、周囲と関わる力を伸ばすために何ができるか、クラスの先生方といっしょに考えていきたいと思っています。

Q. お子さんを見る際に大切なポイントはどこですか？

お子さんが興味をもつところは何か、コミュニケーションをとる上で困っていることは何かを知ることは大切だと思います。特に幼児の場合には、興味をもてるものを提示することで、取り組む意欲を引き出すことができますし、人との関わりを楽しむ可能性が広がると考えます。個々のお子さんに合ったコミュニケーションの方法を探りたいと思います。

Q. 先生の嬉しい瞬間、喜びはなんですか？

お子さんたちのできた！わかった！の笑顔に出会うことは、もちろん嬉しい瞬間です。さらに人とのやりとりが楽しくなってお茶目になったり、自信を持つことで、失敗を恐れずにチャレンジできる姿を見せたり、いろいろな成長の姿に出会うことです。

いかがでしたでしょうか。お子さんたちは楽しさの中で一つひとつステップを踏みながら日々、力を育んでいます。

「育児日記」

成長がとてもゆっくりな息子。まだつたい歩きの頃に娘が生まれ、てんてこ舞いの毎日でしたが、今も書き続けている３年連用の育児日記を読み返すと、ほとんど記憶がない当時のことを思い起こすことができます。

何ができる、できないということばかり気になっていた０、１歳でしたが、つつじ学園に入園し療育と出会った２歳頃から、日々のつみ重ねで自信をつけ始めた息子の変化に気づいていました。

３、４歳からの様子を振り返りながら、５歳になった今を書くことで、目で見てわかる成長はとてもゆっくりですが、持っている力を発揮しようと頑張る底力のすごさを感じます。

疲れていると正直書くのが面倒な時もありますが、育児日記は新しい変化の発見に欠かせないものとなりました。成長していく子どもたちの大切な姿を残すため、そしてこれからの私のためにも書き続けていきたいと思います。

つつじ学園　K．Sの母

「私の仕事と大好きなアーティスト」

私の住んでるところは、あっとほーむ松が丘です。私はもう、グループホームに住んで３年になります。仕事はハックドラッグです。ハックドラッグでは品出しや発注をしています。仕事はとても大変です。

休みの日はライブに行きます。Eye’s さんと、有希さんという人です。ライブはとても楽しいです。休憩時間になると、少しだけ話ができます。たんじょう日の時は、オリジナルのハッピーバースデーソングを歌ってくれます。

Eye’s さんと有希さんは、私の人生を変えてくれた、すばらしい人で大好きな人です。ちなみに Eye’s さんの夢は、紅白に出る事です。これから Eye’s さんと有希さんを、ずっとずっと応えんします！

あっとほーむ松が丘　利用者　栗原彩美

◎リレートーク◎

「車との日々、そして…」

小さいころから「車」とつくものがすごく好きで、幼稚園の頃から三輪車を乗り回し、時々家族で連れて行ってもらったドリームランドでゴーカートに乗った時の興奮は今でも忘れられません。高校生になり、アルバイトをして免許をとり、バイクを購入して友人たちと年中ツーリングに行っては、お互いのバイク自慢をしたのは良い思い出です。

事業団に入職して初めての大きな買い物は「車」です。初めて自分の車を見たとき、トトロの「猫バスみたいでかっこいい！」と営業の人に言ったのを今でも覚えています。納車されてからは、運転が好きということもあり、軽井沢や伊豆、冬は白馬や蔵王にも行き雪の上も元気に走ってくれました。

そんな猫バスと出会って８年１６万キロ。いつも一人で乗ることが多かった私ですが、これからは車が恋人ではなく大切な人も一緒に乗せて安全運転でドライブしていきたいと思います。

ふれあい活動ホーム赤羽根　職員　川辺洋平

「つながっている」

数年前の健康診断の日、高層階の窓から目線を下に向けると、人々が動き暮らす様子が印象的でした。「こんなにたくさんの人がいるんだ。知る人は見当たらないなぁ。」と思いつつ、「これほどの人が暮らす街で、出会い、知り合うってとっても不思議だなぁ。」と強く感じた覚えがあります。

さらに「しばらく会ってないなぁ。どうしているかなぁ。」と思ったり、話題にあがると…。数日後「もしやあの後姿は？」とか「聞き覚えのある声？」と出先でばったり。あちらも「電話しようと思っていたんです～。」と。皆さんも経験されていますよね。結婚相手ではないけれど見えない糸で「つながっている」感じで不思議です。そして何とも嬉しい気持ちになります。

家族、友だち、先輩方、そして「つみき」や「つつじ学園」で出会った人たちと、これからも優しく強く楽しく大切に、つながりを感じて、嬉しい不思議が入るゆとりを持ち続ける自分でいたいと感じるこの頃です。

相談支援センターつみき　職員　松野宣子

似顔絵は「あかしあ」の鈴木郁子さんが描いたものです。

ニュース&トピックス

福祉会館の閉館イベントが行われました！

平成３０年１２月９日、２地域のまちぢから協議会の全面協力を得て「ありがとう福祉会館」と題した閉館イベントが開かれました。利用者による作品展示や舞台発表、懇親会を通して、楽しく交流するとともに半世紀にわたる施設の閉館に別れを惜しむ声が多数寄せられました。

MCA 無線を設置しました！

災害時の事業所間の通信手段として、ＭＣＡ無線を設置しました。ＭＣＡ無線は災害時に強い無線として全国の自治体などでも採用されているものです。これにより、電話やメールが使えない状況でも、法人内の事業所間で連絡を取り合えることが期待でき、安否の確認や災害発生後の対応など、災害時の情報交換の場面で活用していく予定です。

ご寄附ありがとうございます

日頃よりお世話になっている手芸サークル「コスモス」さんから、つつじ学園へ「鬼の的当て」を寄附していただきました。子どもたちが豆の入ったお手玉を鬼に向かって投げ、そのお手玉が鬼の顔に付いて鬼退治をするという、遊べる玩具です。ハンドメイドの温かさに加え、日本の風習を継承しながら、楽しくいっぱい遊びたいと思います。本当にありがとうございました。

栄養士さんのとっておきレシピ

● えのき入りミートローフ ●

スキムミルクが入った
カルシウムたっぷりの料理です！

【材料（子ども１人分）】

鶏ひき肉	４０ｇ
えのき	１５ｇ
玉ねぎ	２０ｇ
卵	５ｇ
スキムミルク	１０ｇ
片栗粉	１．５ｇ
塩	０．１ｇ
油	少々

【作り方】
① 玉ねぎはフードプロセッサーでみじん切りにし、油をひいたフライパンでよく炒める。
② えのきもフードプロセッサーで細かくする。
③ ①、②、スキムミルクをボールに入れホイッパーでよく混ぜ合わせる。
④ ③に卵、片栗粉、塩、鶏ひき肉を入れよく混ぜ合わせる。
⑤ ④をバットに流し入れ、上にアルミホイルをかぶせ１８０℃のオーブンで蒸し焼きにする。
⑥ 火が通ったら、ホイルを外しさらに焼き、表面に焦げ目をつける。
⑦ お好みでケチャップを添える。

【ポイント】
＊えのきを加えることでしっとりとしたミートローフになります。
＊ケチャップの代わりに和風のあんを作ってもおいしいです。

管理栄養士　高井　好枝

編集後記

平成最後の広報紙。
広報紙も第９号となり、徐々に茅ヶ崎市社会福祉事業団のことを知ってもらえてきたと思います。原稿づくりも各事業所で作成するようになってきています。この広報紙が職員のパソコン技術の習得に一役買っていることは間違いないですが、より見やすく、より分かりやすく、より〇〇、と永遠に終わらない課題を追及して、新元号になっても、良い広報紙づくりに励みたいと思います。
チーム員☆（も）

広報紙編集チーム員
つつじ学園　森　佳久
赤羽根第２あかしあ事務局　石井　貴恵
星野　晃平
白井　里美
譲原　充司
髙橋　里幸
渡邉　祐美
林　恭平

ご利用者、職員の皆様ご協力ありがとうございました。

発行：社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団
茅ヶ崎市矢畑 262 番地 2
電話：0467-83-9282 ファクス：0467-84-9554
URL：http://www.chigasaki-sfj.jp
編集：広報紙編集チーム
印刷：ふれあい活動ホーム赤羽根
部数：６００部